

Science Cafe in Shizuoka 2021

サイエンスカフェ in 静岡

第33シーズン【オンライン講座】

要申込

参加無料

科学を身近に：科学の魅力や夢を届けたい

今シーズンの講師は、静岡大学に新しく赴任した新進気鋭の若手研究者です。サイエンスの最前線に触れる絶好のチャンス！ふるってお申し込みください。

第150話

11月
25日(木)

「デタラメ」は何を結論づけるのか？

理学部 数学科 岡村 和樹



ランダムな対象の中に規則性が潜んでいることがあります。サイコロを振った時に出る目の割合に関する大数の法則が代表的な例ですが、もう少し見ていくと、それ以外にも様々なランダムな対象に様々なタイプの規則性が潜んでいることがわかります。そのような世界の一端を紹介できればと思います。

第149話

10月
28日(木)

姿が異なるオスとメス
～クワガタムシの雌雄差を
生み出す発生メカニズム～

理学部 生物科学科 後藤 寛貴



生物の中にはオスとメスで姿が大きく異なる種類が存在します。シカやクジャクなどが代表的な例です。しかし、同じ種類なのでオスとメスで持っているゲノム情報はほとんど同じはずですが、ほぼ同一のゲノムから全く異なる形態を作ることができるのでしょうか？本講演では、私が研究しているオスとメスで姿が大きく異なるクワガタムシを例に、雌雄差がどのように形成されるのかをご紹介します。

第151話

12月
16日(木)

地球に最初の花が咲いた！
植物化石から探る
被子植物の起源

理学部 地球科学科 Legrand Julien



花を咲かせる植物、すなわち被子植物は、陸上植物種のうち9割の種数を占めており、私達の生活に大きく関わっています。しかし、いつ、どこで、どのような祖先から進化したのかについては、必ずしも明らかではありません。被子植物は、恐竜が栄えた白亜紀に急速に多様化し、急速に分布を拡大したため、かのダーウィンも被子植物の進化を「忌まわしき謎」として敬遠していました。この講演では、植物化石と被子植物の起源についてをご紹介します。

時間/18:00～19:30

対象/Zoomで参加可能な方

※事前にZoomのインストールと動作確認を行ってください

人数/80名

(お申し込みが定員を超える場合は抽選となります)

主催/静岡大学理学部

※Zoomは、Zoom Video Communications, Inc.の商標です



申し込み
方法

事前申込制/電子メールにてお申し込みください。メール:scafeweb@suml.cii.shizuoka.ac.jp

*氏名(ふりがな)、住所、年齢、電話番号、メールアドレス、参加希望される講演を明記してください。

*参加者には、講演日前に参加に必要な情報を電子メールにてお伝えします。なお、定員を超え抽選となった場合、選ばれた方の発表は、このメール連絡をもって代えさせていただきます。

申し込み
締切

■第149話/10月20日(水)23:59まで ■第150話/11月14日(日)23:59まで

■第151話/12月5日(日)23:59まで

【お問い合わせ】 静岡大学理学部総務係 TEL:054-238-3080 [平日9:30～16:00]

メール:scafeweb@suml.cii.shizuoka.ac.jp HP:https://www.sci.shizuoka.ac.jp/science-cafe

▲ ホームページが新しくなりました ▲

